

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020122

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	生産体制の強化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	北海道林業成長産業化地域創出モデル事業					
事業期間	平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	苗木の安定供給					
事業目標	施設整備一式					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9	産業振興課	
			関係課		#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	有	苗木安定供給推進事業実施要領、森林・林業再生基盤づくり交付金実施要領、北海道補助金等交付規則	
			関係個別計画名	無		

全体計画		事業内容	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容		補助金の交付					補助金の交付
	事業費(千円)	11,418	0	0	0	0	11,418
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	11,418					11,418
	地方債	0					
	その他	0					
実績事業費	事業費(千円)	11,390	0	0	0	0	11,390
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	11,390					11,390
	地方債	0					
関連事項	特定財源の名称	苗木不安定供給推進事業補助金	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値					施設整備一式
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	100%	
	備考欄						

事業名	北海道林業成長産業化地域創出モデル事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	種苗会社	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	コンテナ苗木生産のための関連施設整備	
【抱える課題やニーズは】	苗木生産力の増加と安定供給の実現化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ビニルハウス等の施設を整備しコンテナ苗の生産量の増加と安定供給の実現	① コンテナ苗木生産のための関連施設整備	目標年度	平成29年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	コンテナ苗の生産を年間30,000本から年間100,000本へ増加させる	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	種苗会社が実施するビニルハウス等の施設整備に係る事業費に対して補助した。町が補助した額の同額が北海道から町へ補助された。	目標年度	平成29年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	苗木の安定的な供給体制を確立するためのビニルハウス整備や育苗機械の導入等にあたり、補助金を交付するもので、市町村の間接補助事業であるため、市町村において予算措置の必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	コンテナ苗木の生産体制の増強と生産力の増加が見込まれ、苗木供給の要望に対応することが可能になる。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	北海道林業成長産業化地域創出モデル事業の活用で種苗会社の経費負担が軽減され、苗木の生産量の増加が期待される。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	苗木の安定的な供給を確立し、地域の林業振興に寄与するので公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
種苗会社が目指す苗木生産体制増強のため、補助を行った結果、関連施設が整備され、今後、苗木生産力の増加と安定供給の実現化が見込まれる。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
コンテナ苗木の生産体制確立のため、補助金を活用して施設の整備を終え、今後、安定した苗木の生産が期待できることから、事業終了とする。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止